

クローズアップ飯盛城 2025 ワークショップ

「飯盛城の道しるべづくり」

令和7年5月24日と5月31日の二日間にわたり飯盛城跡内を見学するための「道しるべ」をつくるワークショップを開催しました。今回のワークショップの開催にあたっては、大東・三好長慶会、なわてボランティアガイド「ゆずりは」、大阪電気通信大学のご協力をいただきました。

■名称板・誘導標識の作成

ワークショップ開始前に大阪電気通信大学の協力で『3D 造形先端加工センター』で誘導標識や名称板のレーザー加工を行いました。

今回、誘導標識等を製作するにあたり、大阪電気通信大学で昨年10月に発足した『三好長慶と飯盛城』をテーマに河内地域と連携して課外活動を行っている『甲冑工房』に参加されている学生の皆様にご協力いただきました。



ご協力いただいた 大阪電気通信大学
松村先生と甲冑工房の学生の皆様



ワークショップ2回目の現地設置
にもご参加いただきました。



3D 造形先端加工センターでの名称板・誘導標識レーザー加工の様子

■5月24日(土)第1回 四條畷市歴史民俗資料館

市職員から飯盛城跡の歴史と城跡の特徴の説明の後、看板の矢印に色を塗りました。

最後に四條畷市歴史民俗資料館で展示している飯盛城跡の出土遺物の解説を行いました。



看板の色塗りの様子



四條畷市歴史民俗資料館での展示解説

■5月31日(土)第2回 飯盛城跡

第1回のワークショップで作成した看板は現地を見学しながら設置しました。

飯盛城跡の見学の際にお役立てください。



設置場所の確認



V郭(御体塚郭)での現地解説の様子



設置した看板(石垣18の名称板)



設置した誘導標識(X郭(馬場))